

株式会社 湯山製作所

業界標準を生み出した 調剤機器のトップ企業

海外
発注可
企画力
自信有
オンリー
ワン技術



業務内容

薬剂分包機で国内トップの
リーディング企業

湯山製作所は薬剂分包機で国内トップシェアを誇る企業だ。薬剂分包機とは、従来は薬剤師が手作業で行っていた薬の分包（粉薬や錠剤を選別し1包に分けること）や袋詰めを自動化する機械のこと。この分包機を主力製品として、病院や診療所、調剤薬局で使用される調剤機器や設備を始め、調剤業務の自動化・効率化に貢献するトータルシステムの開発・製造・販売事業を展開している。

製品特長

業界スタンダードとなる
薬剂分包機を開発

同社の薬剂分包機の進化の歴史は、業界標準の確立への歴史でもある。昭和41年に粉薬を1包ごとに自動分割する「スライド方式」で注目を集め、昭和48年には「R円盤機構」を開発。どちらも業界初となる独自の技術で、R円盤に至っては現在も業界標準として各社の機器に採用されている。

R円盤機構とは、円盤を回転させながら粉薬をかき落とす斬新な手法で、薬剤を均等に誤差なく自動分割できる。「ただ、この機構はあまりにユニークで、発売当初は受け入れられませんでした」と湯山社長が語るように、R円盤を採用した機器は順調にシェアを拡



高い分包精度を誇るR円盤機構

大してきたわけではない。「発表当時は見向きもされなかったが、先達が我慢を重ねて技術を磨き、普及を続けてきたからこそ今がある」と先人の偉業を称える。

もちろん同社は、粉薬用の分包機以外にも錠剤の自動分包機や注射薬自動抽出装置、薬袋プリンター等、調剤業務に関する製品を多数手掛けている。

強み

200人以上の営業スタッフが
顧客ニーズを収集

「当社の強みは開発力もさることながら、販売会社の(株)ユヤマに在る全国200人以上の営業スタッフの情報収集力と提案力です」と強調する。薬剤師の職域が拡大して調剤業務が多忙になる中、全国の営業スタッフが現場の悩みや課題を吸い上げ製品開発に活かしているのだ。

今後の展望

薬だけでなく情報の管理も
担える企業を目指す

現在、医療の現場ではリスクマネジメントの対応が求められている。同社は調剤機器の開発に留まらず、調剤された薬とその情報が患者に届くまでの全過程を管理・支援するトータルシステムを開発し、誤飲等の医療事故防止に貢献するべく業容を拡大している。

「また日本は調剤機器の先進国。すでに当社製品の導入が進むアメリカを始め、東南アジア等、海外マーケットの開拓も考えています」と新たな挑戦も視野に入れている。

COMPANY PROFILE

株式会社湯山製作所

大阪
24

ISO 13485

ISO 9001

ISO 14001

■主な事業内容

病院・医院・診療所・調剤薬局の調剤・製剤機器設備、電子カルテシステムの開発・製造・販売等

■主な取引先(納入先)

医薬品・医療機器卸、製紙メーカー、電気部品商社、鋼材メーカー等

住所 / 〒561-0841
豊中市名神口3-3-1
TEL / 06-6332-1315
FAX / 06-6333-2135
創業 / 昭和39年11月
設立 / 昭和42年11月
資本金 / 9,000万円
従業員 / 641名

<http://www.yuyama.co.jp/>

当社の歴史

当社は創業以来、散薬分包機や錠剤分包機の開発を通じて、調剤業務の効率化に貢献してきました。お客様の声を重視し、全国の営業スタッフが現場の声を集め、それを製品として形にすることで、「ユヤマに頼めば何とかしてくれる」という業界風土を築いてきました。「薬のあるところユヤマあり」——その期待に応えるべく今後も努力を続けていきます。

ユヤマに頼めば何とかしてくれる——。
その期待に応えられる企業を目指す。

代表取締役 湯山 裕之さん

